

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の手順で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）
電動ドリル、プラスドライバー、充電ケーブル(1.5m以上)

完成図

耐荷重 1kg

組立て部品

※部品の欠品や破損があった場合は、品番(CR-LASTIP31など)と下記の部品番号(①~⑪)と部品名(ポールカバーなど)をお知らせください。

- ①ポール×1本
- ②ボックス×1個
- ③ベース×1枚
- ④ポールカバー×1個
- ⑤鍵×2本
- ⑥コンクリートアンカー×3本
- ⑦ボルトA×4本(M5×6)
- ⑧ボルトB×3本(M6×20)
- ⑨タッピングネジ×3本(6.3×55)
- ⑩六角レンチ(5mm)×1本
- ⑪星型レンチ×1本

使用ボルト

1 ポールに充電ケーブルを通します。

充電ケーブルを使用しない場合はこの作業は必要ありません。

充電ケーブル(別売)
※1.5m以上のケーブルを使用してください。
※円盤の付いている方から機器側のコネクタを出します。

2 ベースにポールを取付けます。

使用ボルト

⑧ボルトB(M6×20)

①ポール

上

④ポールカバー

③ベース
※クッションのある方が下です。

⑧ボルトB

⑩六角レンチ(5mm)

3 ボックスを解錠します。

②ボックス

解錠

⑤鍵

4 ボックスからフタを取外します。

フタ

①開く

②取外す

②ボックス

5 ボックスをポールに取付けます。

②ボックス
※錠のある方を上にします。

充電ケーブル(別売)を通します。

⑦ボルトA

①ポール

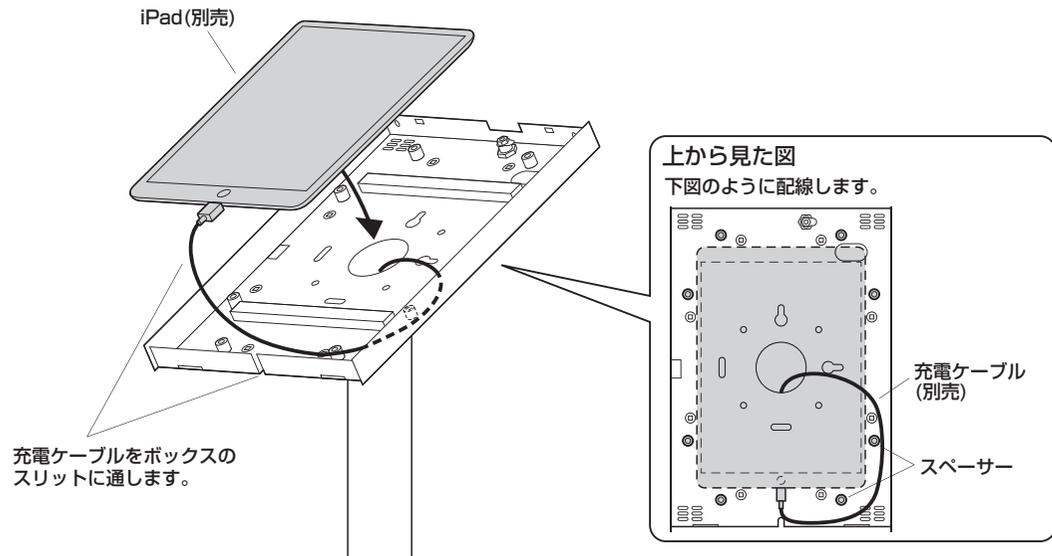
使用ボルト

⑦ボルトA(M5×6)

6 ボックスにiPadを載せます。

<10.2~10.5インチのiPadを取付ける場合>

iPadに充電ケーブルを接続し、ボックスに載せます。

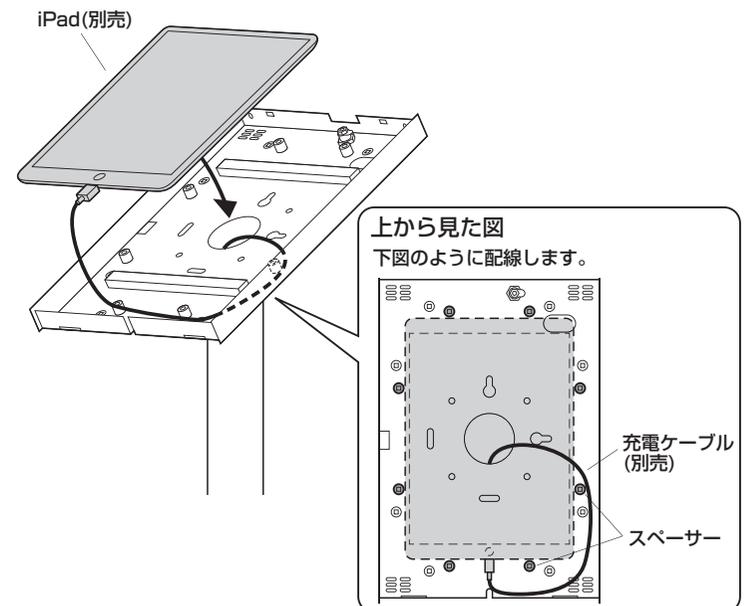
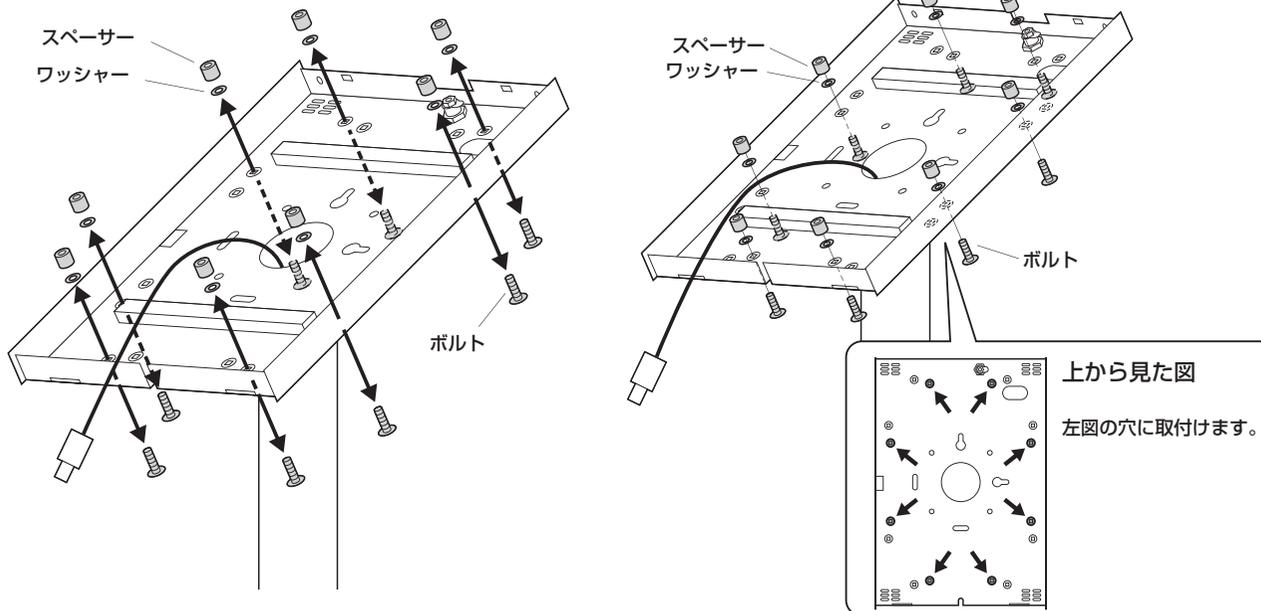


<9.7インチのiPadを取付ける場合>

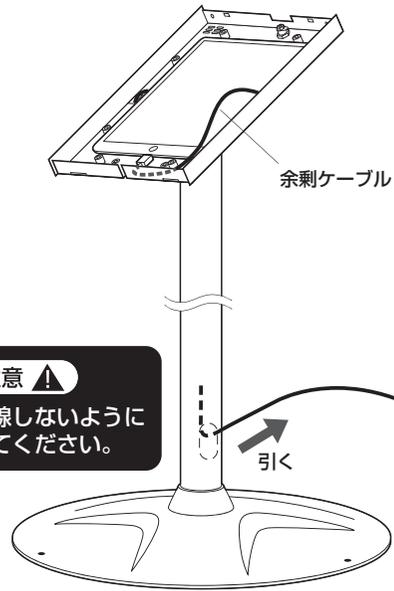
❶ ボックスからスペーサーを外します。

❷ スペーサーを下図の穴に付け直します。

❸ iPadに充電ケーブルを接続し、ボックスに載せます。

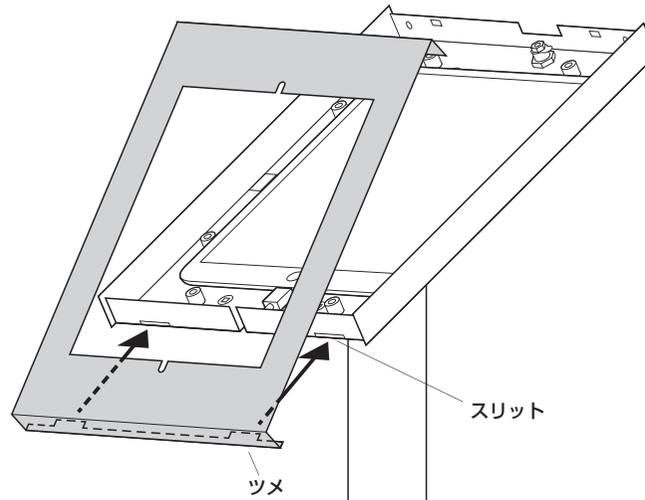


7 ポールの下側から充電ケーブルを引き、
余剰ケーブルの長さを調節します。

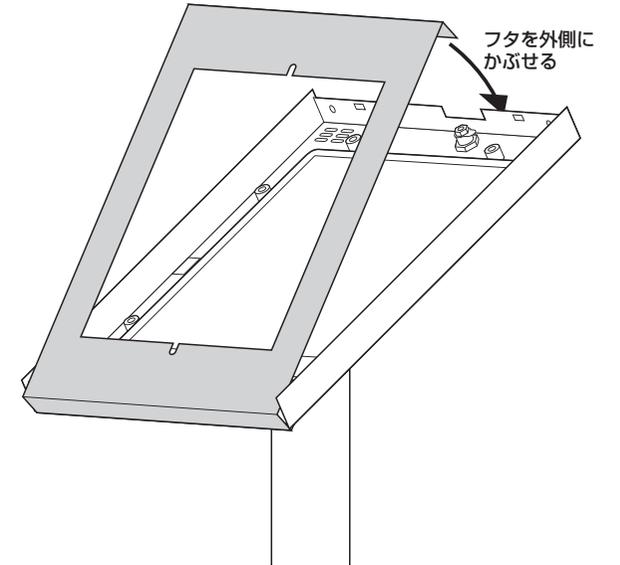


8 ボックスにフタをします。

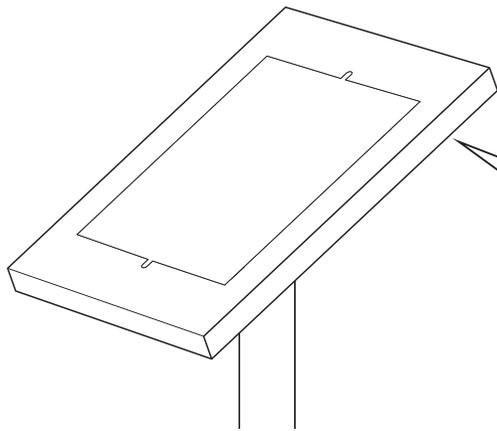
① ボックスのスリットにフタのツメを差し込みます。



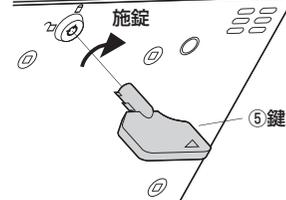
② フタをボックスにかぶせます。



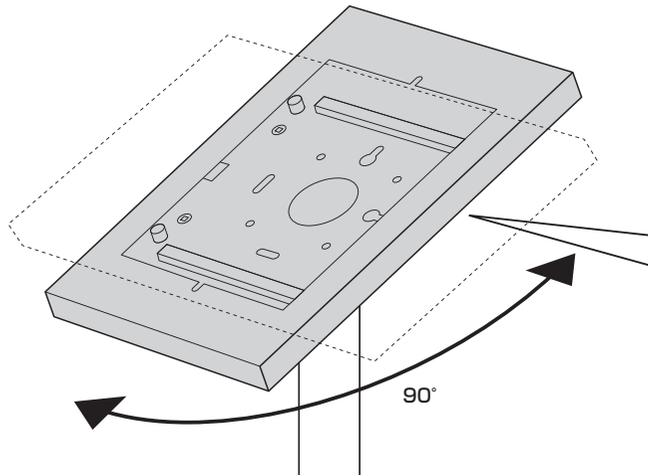
9 ボックスを施錠して完成です。



ボックスの錠に鍵を差し込み、
矢印の方向に回します。
施錠後は鍵を抜き取ってください。

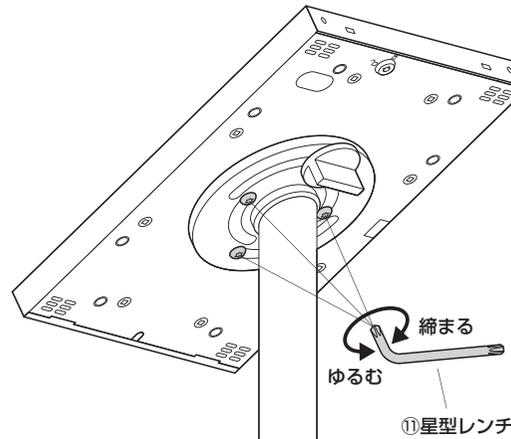


可動範囲と調節方法

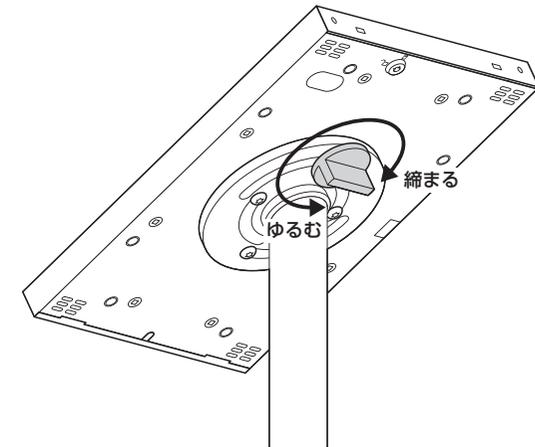


下図の手順で画面の向きを90°回転することができます。

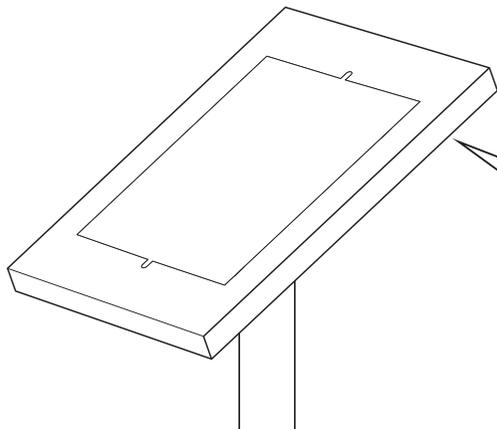
①3ヶ所のボルトをトルクスレンチで緩めます。



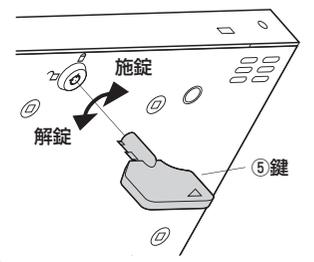
②ノブボルトを緩めると、画面の向きを90°回転することができます。
※回転させた後はボルトとノブボルトをしっかりと締め付けて固定します。



施錠・解錠方法



ボックスの錠に鍵を差し込んで回すと施錠・解錠ができます。施錠した場合は必ず鍵を抜き取ってください。



▲ 使用上の注意

- 耐荷重以上の機器を取付けないでください。
- 対応機種以外の機器は取付けないでください。
- 機器を取付けたまま本製品を移動させないでください。
- 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
- 必ず屋内の平坦で安定した場所で使用してください。
- ぐらつきがある状態で使用しないでください。また、ボックスが不安定な角度で使用しないでください。
- 用途以外で使用しないでください。
- 部品が外れたままで使用しないでください。
- ボルト・ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。
- 本製品を分解・修理・加工・改造はしないでください。
- 本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。
- 本製品を高温・多湿となる場所や、ほこりや静電気、油煙の多い場所で使用・保管しないでください。
- 本製品を水などの液体で濡らさないでください。また、濡れた手で触れないでください。
- お子様には本製品や付属品を触れさせないでください。
- 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた事故や直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。あらかじめご了承ください。

床への固定方法



建築物によって床の構造や強度は異なります。

床に固定する場合は本書に記載してある固定方法を参考にして、工事業者様が専門的に床面を診断の上、十分な強度を持つ最適な固定方法を決めて工事してください。

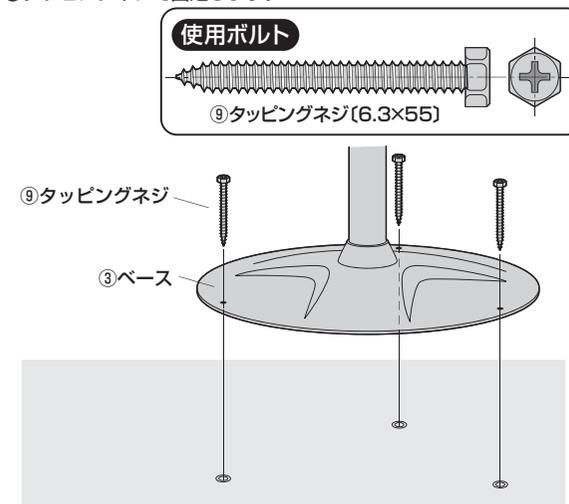
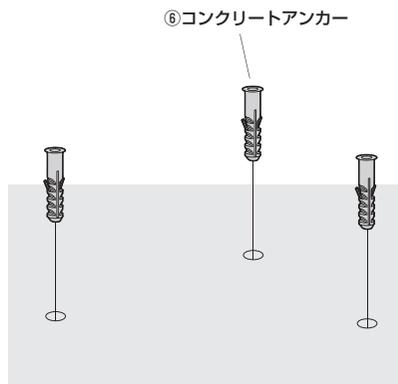
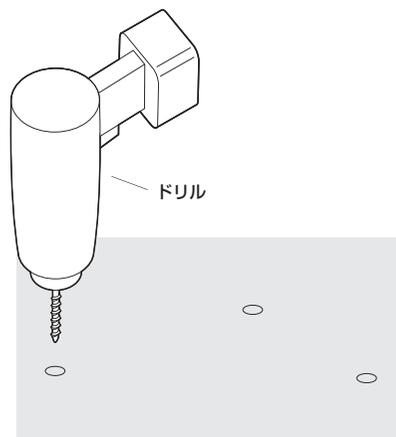
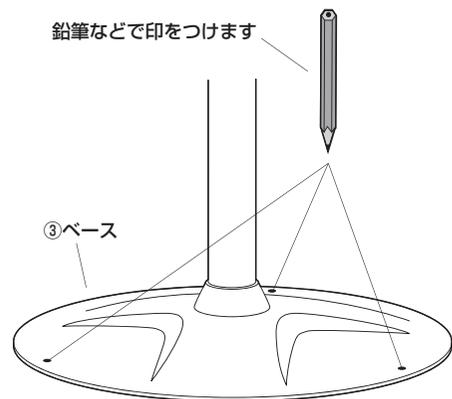
<コンクリートの床に固定する場合>

①設置する場所にベースを置いて穴を開ける位置に印を付けます。

②ドリルを使い、印をつけた3カ所に直径10mm、深さ約55~60mmの下穴をあけます。

③コンクリートアンカーを下穴に差込みます。

④タッピングネジで固定します。



<木製の床・天板に固定する場合>

注意

- ・木製の床へ取付けるためのネジは付属していません。タッピングネジ(6.3×15mm)をご用意ください。
- ・内部に金属やコンクリートなどの構造部材が入っている場合があります。内部構造を考慮して、固定位置を決めてください。

①設置する場所にベースを置いて穴を開ける位置に印を付けます。

②ドリルを使い、印をつけた3カ所に直径5mm、深さ約12~15mmの下穴をあけます。

③タッピングネジで固定します。

